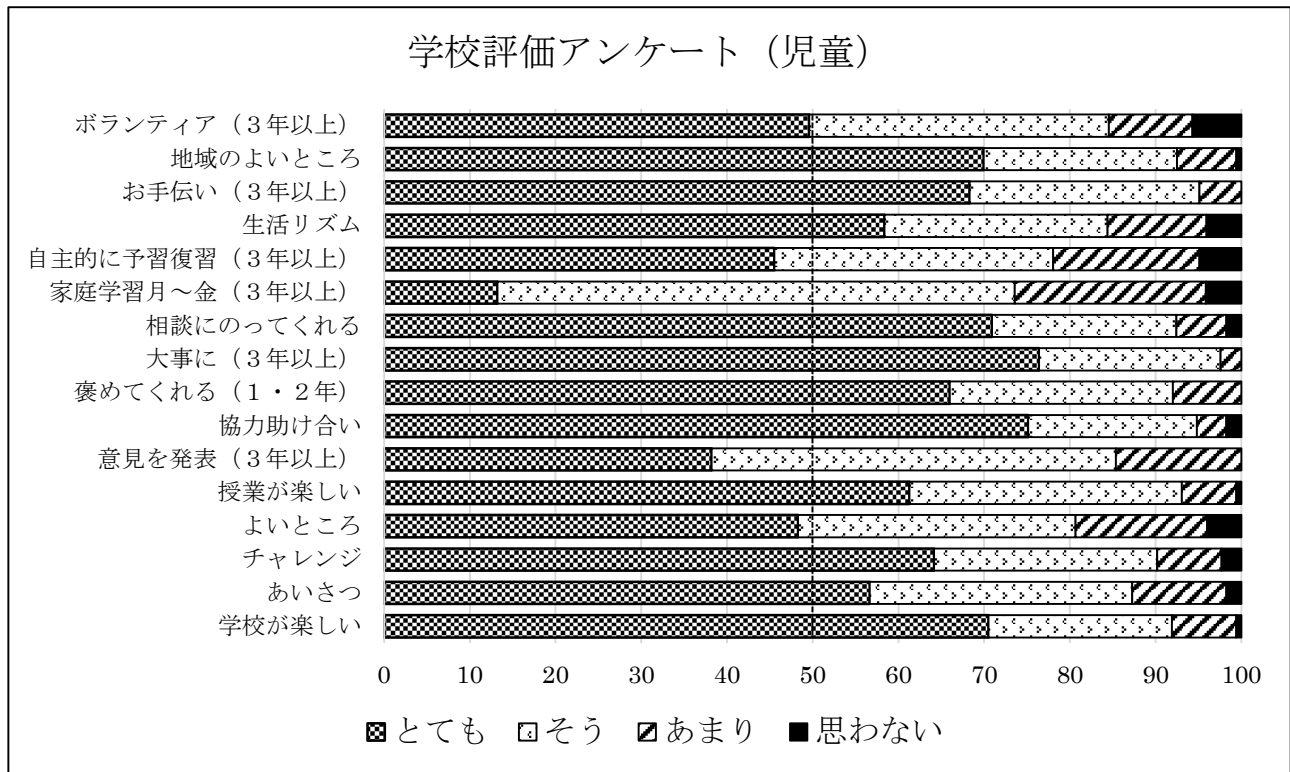


学校評価結果<児童の部>

今年度の学校評価について、児童へのアンケート調査結果と今後の対応を下記の通りお知らせいたします。各ご家庭や地域でも、話題にしていいただければ幸いです。

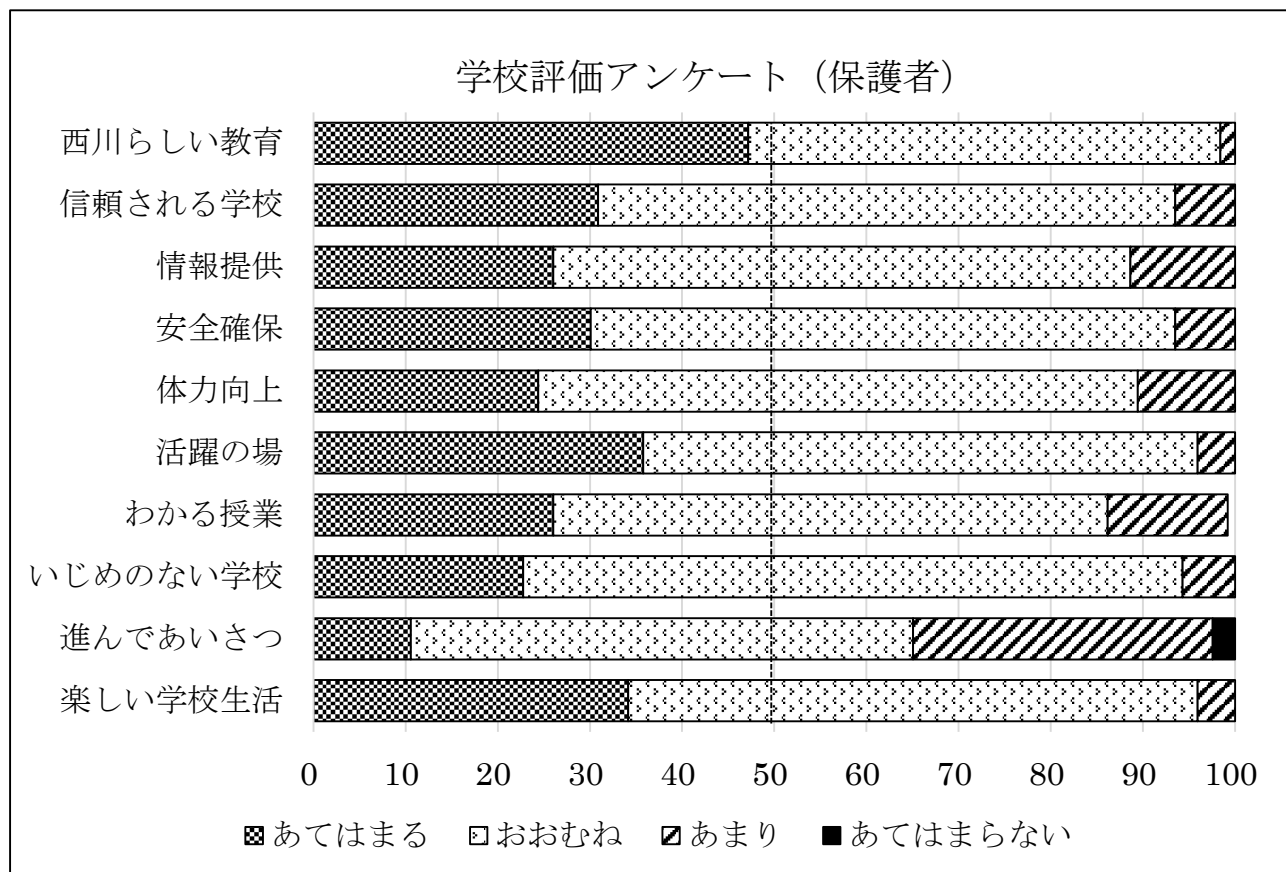


分析と今後の対策

- 「学校生活が楽しい」と答えている児童が92%おり、コロナ禍の中でも各活動を縮小・工夫しながら実施してきたことが成果となって表れていると思われます。また、「めあてをもってチャレンジすること」に対する意識も高く、自己目標を決めさせ諸活動を進めてきたことが成果となって表れていると思われます。
- 「楽しくわかる授業」「友達との協力や助け合い」についても意識が高い結果となりました。日常的な授業改善、そして児童会活動や学校行事等で、同学年を中心とした児童同士のかかわりや助け合いを重点にした取り組み等が成果として表れていると思われます。
- 担任と児童の人間関係やコミュニケーションも良好で、担任に信頼を寄せ困ったことがあったらすぐに相談できる体制が整っていると思われます。
- 「地域の良さ」をたくさん発見している児童が90%を超えており、時期等を調整しながら、生活科や総合的な学習の時間、「ふるさと楽行」等で地域と連携した教育活動を進めてきた成果と思われます。
- 家庭における日常的な家族とのコミュニケーションが良く行われているほか、手伝いも一生懸命行っていることがわかります。
- 生活リズムやメディアコントロール運動の成果が少しずつ表れてきています。さらに、ネットトラブル未然防止の指導のほか、ノーメディアの際の有効な時間の使い方について保護者と一緒に指導していきます。
- △「自分のよいところ・がんばっているところ」について、約2割の児童が自分に自信を持っていない状況です。今後、児童一人ひとりの活躍場面を設けたり授業等の中で「自分が役に立った」と感じられるよう手立てをとったりしていきます。各ご家庭や地域でも、児童のがんばりや努力をたくさん褒めていただきたいと思います。
- △家庭学習の時間について、「家庭学習の手引き」を活用しながら、保護者と協力して学年に合った家庭学習の時間や内容を指導していきます。
- △児童会を中心としたJRC活動を進めていく中で、奉仕の精神等を育てていきたいと思います。

学校評価結果＜保護者の部＞

保護者へのアンケート調査結果と今後の対応について、下記の通りお知らせいたします。いただいたご意見をもとに、早速3学期より学校として改善していくべき点を改善していきますが、あいさつや登下校の安全確保など、保護者や地域の方々のご協力が不可欠な内容もあります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



分析と今後の対策・お願い

- ほとんどの項目について「あてはまる」「おおむねあてはまる」と回答した保護者が8割を超えており、本校の取り組みを高く評価いただいたことが分かります。
- 「西川らしい教育」の成果を高く評価されている保護者が最も多い結果となりました。1年時からのカヌー教室や全学年の「ふるさと楽行」、地域探検のような体験を通して、自分が住んでいる町をよく思い大切にしようとしているので、今後も継続して欲しいとの意見をたくさんいただきました。
- 「児童の活躍の場」と「楽しい学校生活」についても、高く評価されている保護者が多い結果となりました。ご家庭で、授業が楽しいと児童から話をされたと回答された保護者もいらっしゃいました。
- △「進んで挨拶」が最も評価の低い項目でしたが、学校と各ご家庭や地域での実態が異なることも分かりました。学校では、今後も担任による指導のほか、児童会や高学年を中心とした挨拶運動を続けていきます。各ご家庭や地域でも、まずは大人から積極的に挨拶し、時と場面に応じた挨拶の重要性を教えていただければと思います。
 - ・今年度から、学校ホームページのほか「ブログ」をほぼ毎日更新し、学校や児童の様子をお伝えしています。今後も多くの皆様方に閲覧していただければ幸いです。
 - ・「子供たちの安全確保」について、今年度は熊の目撃情報が多く、教職員の見守りのほか、保護者による送迎など臨機応変な対応のお陰で、大きな事故や怪我は発生しておりません。今後は、積雪による通学路の安全確保が大切になってきます。保護者や地域の皆様方の見守りと声かけをお願いいたします。